

映画の小箱

誰もが夢み、あこがれる結婚式。甘くもほろ苦い、人生の1大イベントを陰で演出する1人のシンガーを軸に広がる人生模様いろいろ。

金丸弘美=文
text by Hiromi Kanamaru

これほどロマンチックで、純情で、ハートフル、彩りも豊かで温かく、思わずうっとりしてしまう話も珍しい。それでいて、どこかずれているところもあって、思わず大笑いしてしまう。だけど、だれもが通りすぎる、恋や結婚、恋人との行き違いや家族との触れ合いや、仲間たちとの出来事に思わず共感し、頷いてしまうところもふんだんにあって、ここに登場する一人ひとりを愛さずにはいられなくなる。

ときは一九八〇年代。カルチャー・クラブの『君は完璧さ』、デヴィッド・ボウイの『チャイナ・ガール』、ビリー・アイドルの『ホワイト・ウェディング』をはじめ、懐かしい曲があふれる。恋も結婚も知った人は、人生の苦さも甘さも、楽しい思い出も膨らみ重なるて、人生、捨てたものではないという気持ちになることだろう。

ウエディング・シンガーとは、文字通り披露宴の歌い手。主人公のロビー（アダム・サンドラー）は、郊外の住宅街に住んでいる。披露宴があれば、呼ばれて、バンドとともにステージに上がり、結婚式にふさわしい歌を歌い、そしてときにハレの雰囲気にもふさわしいお喋りも披露して、列席者を和ませる。

ある披露宴では、新郎の付き添い人が酔っぱらってステージに立ち、お祝いの言葉に加えて余計なことを話し始めた（こんな人、必ず結婚式に一人はいる）。「俺は嬉しい。こんなヤクで捕まった俺を付き添い人にしてくれて。新郎とは、昔、よく女遊びをしたもんだ。新郎はドキリ。新婦の顔は引きつり、親戚もぞわつく。しかしロビーは、落ちついたもの。『誰だって過ちはある。俺だってそうさ。だが、愛の力にはかなわない。二人はこれから新たに旅立つだろう。僕も来週結婚する』。そしてやおら歌いだし、披露宴はたちま

ち和やかさを取り戻す。

また別の披露宴。ロビーの温かい言葉、披露宴にふさわしい曲の数々。それをうっとり眺めていたのは、披露宴会場のウエイトレスとして働くことになったジュリア（ドリュエ・バリモア）だ。彼女は金持ちのグレンと婚約中。彼女はロビーに話す。

「私の結婚式にも、歌ってね」
「ああ、いいとも。僕の結婚式にはウエイトレスをしてくれたまえ」

こうしてロビーとジュリアは友人になる。そして翌週。教会前の広場で開かれるロビーの結婚式。新婦を待つ出席者と新郎。ところがやってきたのは新婦の姉。なんと、新婦は結婚式に来ないという伝言だった。

「ああ、はい。落ちついてます」と言うロビーだったが、教会の控室にこもるや鏡を打ち砕き絶叫して泣いた。



『ウエディング・シンガー』

涙と笑いとロマンが交錯する 披露宴のバックステージ

日本刀名品専門店

日本刀
銀座長州屋



鎌倉・南北朝時代から室町戦国時代、さらに江戸時代後期幕末までの刀剣・刀装具等武家美術を常設展示販売。また、刀剣に関するすべてのご相談に応じております。

刀剣研究販売情報誌月刊『銀座情報』発行
見本誌無料贈呈 お申し込みは下記LG係迄

日本刀名品専門店銀座長州屋が、商品の内容と品質を拡充して、10月1日、新店舗ビルを銀座3丁目昭和通り沿いにオープン致しました。時を重ねて今に伝えられた古名刀から、お求めやすい短刀・脇差まで、また、居合演武練習用模擬刀など、直接手にとってその芸術性と作品の個性をお確かめ下さい。

〒104-0061 東京都中央区銀座3-10-4

TEL.03-3541-8371(代)

フリーダイヤル ☎

0120-123622

株式会社 銀座長州屋



そして三週間も自宅の地下でこもりつきり。三週間後に、披露宴に歌手として復帰はしたが、不精髭で音程は外れボロボロ。おまけに「愛は虚しいノ」と叫び、愛に絶望するガングンのロックを披露宴で歌って、新郎の父親に取り押さえられボコボコに殴られた。

絶望のロビーは、家の玄関でウエディングケーキの飾りの新婦の人形を、しっかりと握りしめてうなだれたまま。そこへ元婚約者のリンドガがやってくる。

「ごめんね。あたしが惚れたのは、ロックを目指したロビーで、ウエディング・シンガー

じゃないというのが分かったの」

「せめて式の三時間前に言ってほしかった」

失意のままに街を彷徨うロビー。そんな彼にジュリアは希望を持つように気を使う。ロビーは彼女の結婚式を手伝うことを約束する。ところがジュリアの婚約者の金持ちのグレン（マシュー・グレイブ）は、気の多い男とわかり、ロビーはジュリアを守りたいと思いはじめた。一方、ジュリアは、母親から絶対この結婚は得たと言われ婚約をしたものの、自分は本当にグレンが好きなのか、彼自身、自分を愛してくれているのかわからなくなる。

やがてロビーはジュリアを、ジュリアはロビーを好きだと気づくのだが、もうジュリアの結婚式は目の前。行動を起こさないと、二人は永遠に結ばれなくなる……。

郊外の住宅街で行われる結婚披露宴を軸に、破局を味わった男と、これから結婚する女の子の恋の物語。なんとも単純な話だけれども、そこには、二人だけではなく、披露宴に集まるさまざまな人生模様も浮かび上がり、登場人物のそれぞれがいとおしくなる。そして二人の愛の行方に引き込まれるだろう。

『ウエディング・シンガー』 WEDDING SINGER

(1998年アメリカ映画)

監督=フランク・コラチ

出演=ドリュー・バリモア/アダム・サンドラー/クリスティーン・テイラー/アレン・コバート/アンジェラ・フェザーストン/マシュー・グレイブ/アレクシス・アークウェット

配給=東映 (ギャガ・ヒューマックス共同配給)